

総務教育常任委員会資料

(平成25年11月27日)

〔 件 名 〕

- ・ 崎津工業団地の移管について 【財政課】・・・1
- ・ 鳥取県ふるさと納税パートナー企業の募集について 【財源確保推進課】・・・2
- ・ 首都圏における鳥取県・秋田県共同ハタハタPRの実施について 【東京本部】・・・3
- ・ 首都圏における航空便利用促進の取り組みについて 【東京本部】・・・4
- ・ あべのハルカス近鉄本店での今後の鳥取県のPRの取組について 【関西本部】・・・5
- ・ WELLCOM（ウェルコム）株式会社の米子市進出に係る調印式の開催について 【関西本部】・・・6
- ・ 「鳥取県企業立地トップセミナー in 名古屋」の開催等について 【名古屋代表部】・・・8
- ・ 「エコツーリズム国際大会2013 in 鳥取」の開催結果等 【西部総合事務所】・・・10

総 務 部

崎津工業団地の移管について

平成25年11月27日
財 政 課
立 地 戦 略 課

企業会計が保有している崎津工業団地を一般会計へ移管することに伴い、一般会計から企業会計に貸し付けている元金及び利息を償還免除することとしますので報告します。(実行は本議会に提出している関連議案が議決された後になります。)

1 一般会計に移管される崎津工業団地の概要及び移管理由

(1) 崎津工業団地

所 在	米子市葭津字中海ノ一2000番9～中海ノ九2000番67
敷地面積	24.5ヘクタール
帳簿価格	4,197,043千円
時 価	730,029千円

(2) 移管理由

- 平成24年度に土地の貸付を行った(株)鳥取米子ソーラーパークが、平成25年度中に太陽光発電を開始する予定であり、今後20年間は分譲等の事業活動ができないこと。
- 企業局は、活用委員会等を設置し幅広く他部局も含めて検討してきたが、有効活用策は見いだせておらず、貸付終了後は県全体として幅広く活用策を検討していくことが良策であると考えられること。
- 崎津工業団地は、土地価格の大幅な下落により、時価が帳簿価格を大幅に下回っており、地方公営企業会計基準の見直し(低価法の義務付等)に伴い、埋立事業会計で債務超過状態となる見込みであること。

2 一般会計側の処理及び貸付金の概要

(1) 一般会計側の処理

当該土地を時価額(730,029千円)で引き取り普通財産として管理するとともに、簿価と時価の差額に相当する貸付金(3,467,014千円)の償還免除を行うことにより、これまで当該土地の保有のため企業会計に貸し付けていた元金及び利息の全て(4,197,043千円)を消滅させる。

(2) 償還免除理由

貸付金は、企業局が崎津工業団地の保有に要する費用のために貸し付けられ、当該土地の分譲等によりその返済を期待されたものであることから、今回の土地移管によりその意義が失われるとともに、今後の返済が不可能になるため。

(3) 貸付金の概要 (元金及び利息の合計額 4,197,042,898円)

鳥取県営埋立事業会計の円滑な運営を図るため、米子市の崎津地区の用地取得に係る資金を企業局へ、一般会計から埋立事業会計に金銭貸借契約により貸し付けている。

平成20年度埋立事業会計当初予算で平成19年度以降の利息を免除しており、その後も貸し付けに対する利息の免除を毎年実施している。

また、金銭貸借契約の貸付期間の延長の変更を毎年実施し、現在の契約期間は平成26年3月31日までとなっている。

3 参考(財政指標等への影響)

県内部の会計処理であり、起債等の対外的な債務に係ることではないため、資金不足比率、実質赤字比率、実質公債費率、将来負担比率等の財政健全化指標及び実質収支比率、経常収支比率、公債費負担比率等の決算指標には影響しない。

鳥取県ふるさと納税パートナー企業の募集について

平成25年11月27日
財源確保推進課

平成26年度における「鳥取県ふるさと納税パートナー企業」を下記のとおり募集しています。
記

1 ねらい

寄附者に対するお礼の品の拡充を図り、ふるさと納税のさらなる寄附促進と県産品等のPRや販売促進等につなげていきたいと考えています。

2 対象企業

県内に事業所がある法人その他団体及び個人

＜参考：お礼の品数及び協力企業の推移＞

年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
お礼の品数	61品目	48品目	36品目	8品目
企業数	51社	46社	31社	2社

3 提供していただくお礼の品

(1) 内容

県内で製造されている商品、栽培等されている農林水産物及び県内施設でのサービス等で、本県の魅力を体験できるものです。

(2) 価格等

区分	お礼の品の価格(目安)	県負担額	参考(平成25年度の例)
寄附金1万円以上 ～3万円未満	7,000円相当 (送料込み)	5,000円	米、らっきょう、鳥取和牛 オレイン55、ぼたん鍋、地 酒、ワイン、アイスクリー ム、松葉がに、とうふ・あ ご竹輪、和紙のランプシェ ード、鳥取民芸の皿 外
寄附金3万円以上 ～6万円未満	14,000円相当 (送料込み)	10,000円	
寄附金6万円以上 ～10万円未満	21,000円相当 (送料込み)	15,000円	
寄附金10万円以上 ～50万円未満	時価	時価	＜希少性のある商品＞ 鳥取和牛の希少部位、新品 種の梨、柿、地鶏、マグロ のからすみ 外
寄附金50万円以上	時価	時価	

(3) 提供期間

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

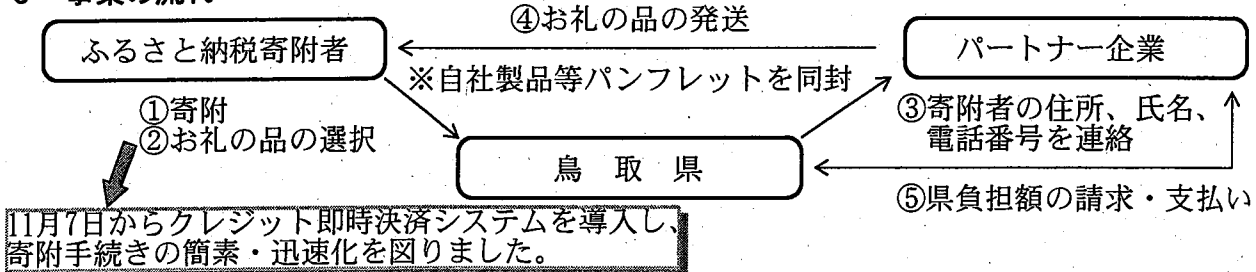
4 パートナー企業のメリット

- 県ホームページや県のふるさと納税パンフレット(約7万部を全国配布の予定)等を通じた企業名、商品名等のPR
- お礼の品発送時の自社商品等パンフレットの同封

＜参考：ふるさと納税寄附受入状況＞

年度	寄附件数	寄附金額	地域別寄附者数
平成25年度(見込)	約14,000件	約18,000万円	関東地方居住者：約5割 近畿地方居住者：約3割 その他の居住者：約2割
10月末実績	4,165件	5,683万円	
平成24年度	3,218件	4,244万円	
平成23年度	729件	1,412万円	
平成22年度	364件	863万円	
平成21年度	55件	340万円	
平成20年度	86件	418万円	

5 事業の流れ



6 応募方法・期限

「平成26年度鳥取県ふるさと納税パートナー企業申込書」に商品の画像データ等を添付し、平成25年12月25日(水)までに、持参、又は郵送の方法により申込。

7 応募・問合せ先

鳥取県総務部行財政改革局財源確保推進課

首都圏における鳥取県・秋田県共同ハタハタPRの実施について

平成25年11月27日

食のみやこ推進課
東京本部

ハタハタの認知度向上のため、東日本の主産地である秋田県と西日本の主産地である鳥取県が連携し、両県合同で都内でのPRイベントや飲食店フェアを開催します。

1 第3回 秋田・鳥取 うまいぞ!ハタハタフェスティバル(共同PRイベント)

(1) 日時: 11月30日(土) 午前9時30分~午後4時

12月1日(日) 午前9時30分~午後3時

(2) 会場: 築地本願寺前広場(中央区築地3-15-1)

(3) 主催: 鳥取県、秋田県

(4) 内容

- ・両県ハタハタ自慢比べ(本県はさかなクン[山陰海岸学習館ギョギョバイザー]が応援団として出演)
- ・ハタ-1グランプリ[各出展者のハタハタ料理を競うコンテスト]の開催
(本県はとろはた蒲焼き丼ひつまぶし風、とろはたのホイル焼き、ハタ寿司、一夜干し焼き等を出展)
- ・両県特産品の販売(本県は東京アンテナショップ、地場産プラザわったいな、米子いただきがいな隊等が出展)
- ・両県伝統芸能の披露(本県は因幡の傘踊りを披露)
- ・両県ハタハタの展示
- ・鳥取県PRブース(県観光PR等、境港市役所は別途でPRブースを出展) など

(5) その他

- ・東京メトロの協力により、築地駅とその周辺駅にポスターを掲示予定

2 築地市場周辺飲食店等でのハタハタ料理の提供(共同飲食店フェア)

(1) 期間: 11月1日(金)~12月下旬予定

(2) 内容: 築地市場周辺飲食店8店舗及び両県ゆかりの店における両県のハタハタを使った料理フェアの開催

〈両県ハタハタが食べられる店舗(8店舗)〉

- ・鮪國(築地4-14-15-1F)
- ・千秋 はなれ(築地4-7-5-B1F)
- ・千秋 本店(築地4-7-5-1F)
- ・とんかつ八千代(築地5-2-1-6号館)
- ・日本料理 紫水(築地3-15-1)
- ・北海番屋(築地4-14-16)
- ・Re-fish 食堂(築地4-16-2)
- ・若葉2号店(旬の海鮮丼)(築地4-9-5)

〈メニュー〉

- ハタハタの刺身、一夜干しのあぶり料理
- ハタハタ丸鍋、開きの揚げ出し、一夜干しの酒蒸し
- ハタハタの唐揚げ
- ハタハタのフライ定食
- ハタハタ定食
- ハタハタ一夜干の網焼き
- ハタハタの湯煮、唐揚げ
- ハタハタ食べ比べ丼

〈鳥取県のハタハタが食べられる店舗(18店舗)〉

- ・稲田屋[いなたや](日本橋店他首都圏5店舗)
- ・炉端かば(新宿西口本店他首都圏8店舗)
- ・季節料理 さん昇[さんしょう]
- ・居酒屋わったい菜
- ・鳥取県東京アンテナショップレストラントットリーネ

〈メニュー〉

- とろはた一夜干し焼き等
- ハタハタ煮付け等(店舗毎に異なる)
- 割鮮盛り合わせ
- ハタハタ刺身等(仕入れたものによって異なる)
- とろはた一夜干しのグリル

〈秋田県のハタハタが食べられる店舗(30店舗)〉

- ・秋田県アンテナショップ あきた美彩館他29店舗

3 築地地区との新たな連携

昨年度から築地本願寺前広場でイベントを実施しているが、築地場外市場商店街振興組合やNPO法人築地食のまちづくり協議会等とのつながりができ、この度の築地市場周辺飲食店舗での飲食店フェア開催につながった。

4 参考

第3回 秋田・鳥取 うまいぞ!ハタハタフェスティバル チラシ(別添資料)

首都圏における航空便利用促進の取り組みについて

平成25年11月27日
東京本部
交通政策課
観光政策課

首都圏における航空便利用促進の取り組みについて、今後、次の事業を実施する予定です。

1. 「食のみやこ鳥取県×羽田空港 どんぶりフェア」

羽田空港のレストランで県産食材を使った特別メニューを提供するとともに、その店舗内外で特別な装飾や本県物産の販売を行うことにより、鳥取・米子への航空路線、本県の食や観光等に関する情報を集中的に発信する。

(1) 開催時期 11月9日(土)～12月15日(日)

(2) その他 鳥取県フェアPRチラシの配布、ポスターの掲出(京急車内、京急・羽田空港駅、モノレール・羽田第1ビル駅等)

2. 鳥取県観光PR隊キャラバン

本県との間に新たにスカイマークの路線が開設される地域で、山陰の冬の味覚「松葉がに」や県下各地の「温泉」等の観光魅力を紹介するPRキャラバンを実施し、当該航空路線を利用した観光誘致を促進する。

(1) キャラバン隊

鳥取県旅館組合おかみの会、鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合、とっとり観光親善大使、鳥取県職員等で編成

(2) 日程(案)

12月2日 観光経済新聞、旅行新聞、東京メトロポリタンテレビ(MXTV)

3日 千葉日報、旅行会社訪問、千葉テレビ等

4日 茨城県庁、茨城県記者クラブ、NHK茨城等

3. 「鳥取Fes」

鳥取県にゆかりのあるお店(飲食店等)と連携し、鳥取の食を中心としたPRイベント「鳥取Fes」を首都圏で展開。首都圏と鳥取を結ぶ航空路線についてもPRする。

(1) 開催時期 12月5日(木)～翌年1月31日(金)

(2) その他 「メトロガイド1月号」(100万部)への記事掲載、ゆかりの店での鳥取県PR等

4. その他

12月下旬(調整中) 茨城空港での鳥取物産展

翌年1月(調整中) 木更津アウトレットモールでの鳥取県・千葉県合同PR

翌年2月(調整中) スカイツリーでの鳥取県観光PR

あべのハルカス近鉄本店での今後の鳥取県のPRの取組について

平成25年11月27日
関西本部

「あべのハルカス近鉄本店」において、年間を通じて月1回以上を目処に鳥取県の露出を実施し、継続的で効果的なPRを行いながら、本県特産品の消費拡大や、観光客数・宿泊客数（流動人口）の増加を図る。

1 概要

本県特産品の消費拡大のため設置していただいた「鳥取特集コーナー」によるPRに加え、秋から冬にかけて鳥取の旬の食材（梨、米、松葉がに）のPRのための試食販売等を実施。

また、「街ステーション」において、観光客数・宿泊客数の増加の観点で、鳥取の観光地の記念撮影（鳥取の景色を再現したフォトロケーション）、民芸品の製作体験など、鳥取でしか経験できないことでの観光PRを実施。

2 実施内容

(1) 実施済みのPR等（前回報告（8月21日）以降に実施した項目）

項目	実施場所	実施時期等
初「鳥取特集コーナー」の試食販売	B2食品売場	8月29日～9月4日
初鳥取県産「二十世紀梨」の試食販売	B2食品売場	8月31日～9月1日
初トリピーとの記念撮影(フォトロケーション)	6F街ステーション	9月1日、22日
初(弓浜緋)綿の種繰り・糸紡ぎ体験	6F街ステーション	10月24日
初近鉄米「おまちかね」の試食販売	B2食品売場	10月24日～30日
・「鳥取特集コーナー」商品プレゼント 及び商品の試食販売	B2食品売場	(プレゼント)10月24日 (試食)10月24日～30日



「二十世紀梨」
試食販売
(B2食品売場)



「おまちかね」
副知事のトップセールス
(B2食品売場)

(2) 実施中、今後実施予定のPR等

平成26年3月7日のグランドオープン（全館開業）までのPR予定

項目	実施場所	実施時期等
初「鳥取県松葉がにの日」記念フェア (松葉がに試食販売、親がに等の販売)	B2食品売場	11月20日～24日
初鳥取県産「白ねぎ」の試食販売	B2食品売場	11月23日～24日
・ととリンとの記念撮影(フォトロケーション)	6F街ステーション	11月23日
初「あまから手帖」連携での本県食材のPR (冊子、レストランメニュー提供)	「あまから手帖」発行 14Fレストラン街	12月23日 2月下旬
初キッチンスタジオでの本県食材PR	9Fキッチンスタジオ	2月から3月にかけて3回
・本県食材の販売(イベントと連動)	B2食品売場	2月から3月にかけて3回
初グランドオープン記念イベント	8F街ステーション	3月7日以降の4日間 (11月補正予算提案中)

※12月から2月にかけて「街ステーション」にて鳥取県のPRを実施予定

3 その他の状況

- ・近鉄法人外商扱いで「7年保存水（鳥取ウォーター（株）」が大阪市、大阪府に災害救命用品（良水備蓄用）として採用
- ・近鉄百貨店お歳暮カタログに県産品10商品が掲載
- ・近鉄百貨店バイヤーの県内視察案内（10月29日 米子市、境港市）

WELLCOM（ウェルコム）株式会社の米子市進出に係る調印式の開催について

平成25年11月27日
関 西 本 部
立 地 戦 略 課

WELLCOM（ウェルコム）株式会社（本社：東京都）が、業務拡大に伴い、米子市に事務センターを新設することとなり、これを支援する鳥取県及び米子市との間で協定書の調印式を行いました。

1 企業概要

- (1) 名 称 WELLCOM（ウェルコム）株式会社
- (2) 本社所在地 東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー6階
- (3) 代 表 者 代表取締役社長 村田 峰人（むらた みねと）
- (4) 資 本 金 55,500千円
- (5) 従 業 員 数 421名（パート・アルバイトを含む）
- (6) 事 業 内 容 BPO業務、通信販売等の受注業務、人材派遣・秘書代行業務 など

※ BPO・・・ビジネス・プロセス・アウトソーシングの略。業務の一部を外部委託すること。

- (7) 主な事業所 ゆいまーるコンタクトセンター（沖縄県沖縄市）
あばらぎコンタクトセンター（沖縄県宮古島市）

2 進出計画概要

米子市のイオン米子駅前店4階に、新たな事務センターを開設する。

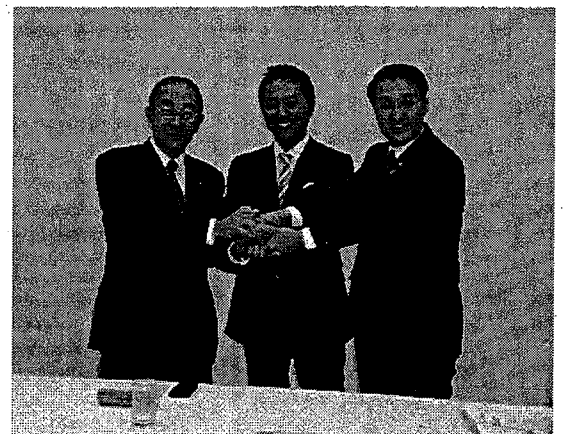
- (1) 開設場所 米子市末広町311番地（イオン米子駅前店4階 812㎡）
- (2) 事業内容 BPOセンター事業
・営業事務代行（見積書、請求書の発行代行等）、通信販売受注、データ入力業務など
- (3) 雇用計画 約200人（うち正規雇用約40人）
・平成26年1月から段階的に採用予定
- (4) 操業開始 平成26年3月（予定）

3 調印式

- (1) 日 時 11月6日（水）午後3時40分から4時30分まで
- (2) 場 所 米子全日空ホテル 飛鳥東の間
- (3) 出席者 WELLCOM株式会社
代表取締役社長 村田 峰人
米子市 市長 野坂 康夫
鳥取県 知 事 平井 伸治

(4) その他

取り交わした協定書の内容は次頁のとおりです。



協 定 書

WELLCOM株式会社（以下「甲」という。）、鳥取県（以下「乙」という。）及び米子市（以下「丙」という。）は、甲の米子市への進出について次のとおり協定する。

第1条 甲は、別紙1のとおり米子市に事業所を設置するものとする。

第2条 乙及び丙は、前条に定める事業所の設置及び操業が支障なく円滑に行われるよう、誠意をもって協力するものとする。

第3条 甲は、従業員の採用に当たっては、米子市在住者の積極的な採用に努めるものとする。

2 乙及び丙は、甲の人材確保に当たっては、誠意をもって協力するものとする。

第4条 甲が別紙1のとおり米子市に事業所を設置することに対し、乙及び丙は、別紙2に掲げる支援を行うものとする。

第5条 甲、乙及び丙は、この協定に定める事業を実施する上で知り得た他の当事者の営業、人事、技術その他の業務上の機密（以下総称して「機密情報」という。）を保持するものとし、第三者に開示し、又は漏えいしてはならない。ただし、機密情報を開示しようとする者があらかじめ書面により当該機密情報を保有する他の当事者の同意を得た場合は、この限りでない。

第6条 この協定に定める事項について疑義が生じたとき、及びこの協定に定めのない事項については、甲、乙及び丙が協議して定めるものとする。

上記のとおり協定した証として、本書3通を作成し、甲、乙及び丙がそれぞれ署名押印の上、各自その1通を保有し、信義を重んじ誠実にこの協定を履行するものとする。

平成25年11月6日

甲 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 WELLCOM株式会社 代表取締役社長 村田 峰人

乙 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地 鳥取県知事 平井 伸治

丙 鳥取県米子市加茂町一丁目1番地 米子市長 野坂 康夫

(別紙1)

進 出 計 画 概 要

1 事業所の名称	WELLCOM株式会社 米子業務センター（仮称）
2 所在地	米子市末広町311番地
3 操業開始	平成26年3月（予定）
4 事業内容	BPO事務等
5 雇用計画	200名程度

(別紙2)

1 鳥取県の支援

- ・鳥取県企業立地等事業助成条例に基づく支援
- ・働けど！頑張る企業を応援する鳥取県正規雇用創出奨励金支給要領に基づく支援
- ・働けど！頑張る企業を応援する鳥取県大量雇用創出奨励金支給要領に基づく支援
- ・鳥取県企業立地等事業による新規雇用者研修費補助金交付要綱に基づく支援

2 米子市の支援

- ・米子市情報通信及び事務管理関連企業立地促進補助金交付要綱に基づく支援

「鳥取県企業立地トップセミナーin名古屋」の開催等について

平成25年11月27日
名古屋代表部

1. 鳥取県への企業立地推進等の取り組み

(1) 「鳥取県企業立地トップセミナーin名古屋」の開催について

中京圏の企業に対し、鳥取県及び鳥取県の推進する施策や企業立地環境をPRし、鳥取県内への企業進出及び県内企業等との連携を促進するために、名古屋で初めての「企業立地トップセミナー」を開催しました。

①日程等 11月22日(金) 15:00~18:30 名古屋ルーセントタワー(名古屋市西区)

②プログラム

プレゼンテーション	「山陰鳥取で安心と成長の未来づくりを」鳥取県知事 平井伸治
鳥取県の魅力紹介	「名古屋向け県紹介ビデオ」上映及び観光親善大使による観光PR
講演	「鳥取と私」 講師：中京テレビ放送株式会社代表取締役社長 山本孝義氏(鳥取市出身)
交流会	交流会

③出席者 110名

- ・中京圏企業 85名(鳥取県が接触している企業、鳥取県に進出している企業等)
- ・鳥取県内関係団体 25名(市町村、県産業振興機構、県産業技術センター、鳥取大学、鳥取環境大学、米子高等等)

④概要: 知事から、鳥取県の「名古屋からの近さ」、「災害リスクの低さ」、「進出企業に対する助成制度」などを直接PRでき、参加された方から「鳥取県に対する理解が深まった」との声が多くありました。このセミナーをきっかけとしてさらに企業訪問や誘致活動を行います。



知事プレゼンテーション



山本講師の講演



会場

(2) 企業立地トップセミナー開催に合わせた企業立地関係PRの実施

① 名古屋市営地下鉄全車両での鳥取県企業立地環境PR

- ・内容 名古屋市営地下鉄全路線の全車両(約800車両)
1車両につき広告1枚を扉に掲出
- ・掲出期間 平成25年11月の1ヶ月間
- ・掲出内容 「近さ」「災害リスクの低さ」などをPR



② 鳥取県紹介ビデオの制作

中京圏の企業や一般のお客様向けに鳥取県の魅力等を紹介するビデオ(8分間)を新たに制作し、企業立地セミナーでの上映の他、今後は企業訪問、観光PRイベントで活用します。

- ・内容 :名古屋から鳥取県へのアクセス、交通インフラ、自然、歴史、温泉、グルメ など



(3) アイシン精機(株)との調達検討会の開催

アイシン精機(株)と県内企業の取引促進のため、電機関係部品の調達の可能性を検討する会を開催しました。今後具体的な商談に向けた取り組みを進めます。

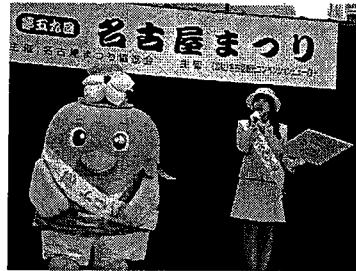
- ①日程等 10月23日(水) アイシン精機(株)安城工場
- ②内容 鳥取県内企業5社が参加しアイシン精機の工場見学後、部品等の調達検討会を開催
- ③主催 鳥取県産業振興機構

2 鳥取県の魅力発信、観光誘客について

(1) 名古屋秋の最大の祭り「第59回名古屋まつり」での鳥取県PR

「名古屋まつり」に参加し、鳥取県の秋旅の魅力やグリーンウェイブをPRしました。

- ①日程等 10月19日(土)～20日(日) オアシス21 銀河の広場
- ②出展概要 鳥取県ブース及びステージで鳥取県の旅や緑化フェアをPR
- ③県内からの参加 緑化フェア実行委員会、砂の美術館(ミニ砂像公開制作)他
- ④来場者数 約96万人(市内5会場合計)
- ⑤主催 名古屋まつり協進会(名古屋市、愛知県、名古屋商工会議所)

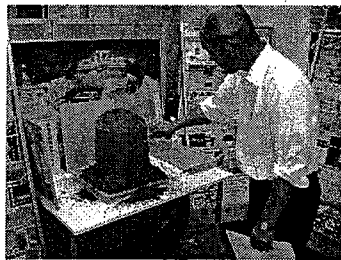


(2) マスコミ媒体での冬の鳥取旅PR

- ①掲載紙 中日ショッパー(発行:中日新聞社)11月14日発行号 全8段 69万部
- ②掲載内容
 - ・来年開湯850年を迎える三朝温泉と解禁を迎えた松葉がに
 - ・「鳥取砂丘イリュージョン」、砂の美術館「3Dプロジェクションマッピング」

(3) 名古屋代表部事務所内での「ミニトリピー砂像」常設展示の開始

中日ビル来場者へのPRのため「砂の美術館」の協力を得て、10月から事務所内で「ミニトリピー砂像」の展示を行っています。



制作・展示の様子

(4) 「鳥取県観光情報説明会」の開催

中京圏の旅行会社を対象とした「鳥取県観光情報説明会」を開催し、鳥取県内の観光関係者も参加して鳥取県のツアー造成に向け県の魅力紹介や鳥取県の旅の提案を行いました。

- ①日程等 11月18日(月) 「キャッスルプラザ」(名古屋市市中村区)
- ②内容 鳥取県の最新の観光情報の説明、郷土芸能披露
- ③出席者 中京圏の旅行会社、報道機関等 約100名
- ④主催 鳥取県観光連盟

「エコツーリズム国際大会2013 in鳥取」の開催結果等

平成25年11月27日
西部総合事務所 地域振興局
文化観光局 交流推進課

10月19日(土)から21日(月)まで開催された標記大会(併催・応援イベント含む)について、以下のとおり開催結果を報告します。

1 参加者

- エコツーリズム国際大会参加者 延べ3,916人 (⇒目標2,500人の約1.6倍)
- 併催・応援イベント参加者 13,312人
- 全体参加者(併催・応援イベント含む)計 延べ17,228人

(単位:人)

区分	開会式・閉会式等	交流会	エクスカーション・オプションツアー	世界のエコツーリズムコーナー	計	<参考>併催・応援イベント
10/19(土)	1,650	269	-	522	2,441	-
10/20(日)	-	140	216	832	1,188	13,312
10/21(月)	165	-	12	110	287	-
計	1,815	409	228	1,464	3,916	13,312

【内訳詳細】

区 分		大会参加者数		
エコ ツ ー リ ズ ム 国 際 大 会	10月 19日 (土)	開会式・基調講演・トークセッション (米子CC・多目的ホール) ※大山ダウンヒルサイクリング実施	1,650人	※海外・県外参加総数 (10/19開会式・基調講演・ トークセッション) <u>516人(31.3%)</u> ○県外:451人 ○外国人:65人 ・韓国15人 ・中国6人 ・ロシア5人 ・モンゴル4人 ・アメリカ2人 ・トルコ1人 ・その他32人
		米子交流会(米子CC・国際会議室)	269人	
		世界のエコツーリズムコーナー (米子CC・情報プラザ)	522人	
	10月 20日 (日)	エクスカーション(県内各地)	1日コース(9コース) 196人 半日コース(3コース) 20人	
		大山交流会(大山ホワイトパレス)	140人	
	10月 21日 (月)	世界のエコツーリズムコーナー (米子CC・情報プラザ)	832人	
		報告会・閉会式(米子CC・国際会議室)	165人	
		世界のエコツーリズムコーナー (米子CC・情報プラザ)	110人	
		オプショナルツアー (鳥取砂丘コース、出雲大社コース)	12人	
	小計(①)		3,916人	
併 催 イ ベ ン ト	10月 20日 (日)	皆生・大山SEA TO SUMMIT 2013	350人	日野川河口~大山
		全国SEA TO SUMMIT連絡協議会	42人	モンベル大山店
		エコツーリズム国際大会2013in鳥取記念 「平成25年度大山秋の一斉清掃」	750人	大山寺
	小計(②)		1,142人	
応 援 イ ベ ン ト	10月 20日 (日)	米フェスタ2013~米生郷祭秋の大収穫祭~	5,000人	米子CC(多目的ホール)
		ノーレジ袋推進シンポジウム	370人	米子CC(国際会議室)
		心と体の健康づくり提唱のつどい	300人	米子CC(小ホール)
		食のみやご当地グルメフェスタIN米子	6,500人	米子CC(正面玄関前)
	小計(③)		12,170人	
合計(①+②+③)		17,228人		

2 エコツーリズム国際大会の開催（国際大会1日目・10/19）

- ふるさとの財産である美観や伝統文化を観光に生かす方法などについて、専門家が活発に意見を出し合った。生活文化の物語化、五感への訴え、自然の恵みへの感謝など、エコツーリズム発展の方向性を参加者が共有した。
- 「米子交流会」では、参加者が地元の特産食材を使った料理を味わい、鳥取の自然の豊かさを味覚でも堪能した。日本（尺八・琴）と海外（馬頭琴）の伝統楽器の演奏も好評だった。
- 世界30地域のエコツーリズムを紹介する「世界のエコツーリズムコーナー」では、美しい風景や自然・文化の楽しみ方などを、地域ごとにポスターや映像等で紹介し、期間中多くの来場者があった。
- 江原道知事をはじめ友好交流地域の方々には、平井知事と一緒に大山ダウンヒルサイクリングで、大山周辺の自然の魅力を体感していただいた。併せて、国内外の専門誌等メディアにより、大きく情報発信できた。
- 米子南高放送部がエコツーリズムを題材にした映像「伝える、たたら。」を制作し、「平成25年度鳥取県高等学校総合文化祭」の「放送部門（ビデオメッセージ部門）」で”奨励賞”を受賞した（平成26年秋に福井県で開催される「近畿高校総合文化祭」への出場が決定。）。

3 エクスカーション実施状況（国際大会2日目・10/20）

- 大会二日目はあいにくの雨天のため、Iコース（国宝・三徳山三佛寺投入堂への修験の道登山と遙かなまち倉吉を訪ねるコース）の三徳山登山が中止（雨天により入山禁止）になった。
- 他の8コースについては（サイクリングや登山も含む。）予定通り催行した。
- 全コースとも事故や怪我人等もなく無事終了した。
- ツアー終了後、参加者交流や各地域の情報交換などを目的にコースごとに分科会を開催した。
- 今後のツアー造成の参考資料とするためにエクスカーション参加者アンケートも実施した（現在集計中）。

4 エクスカーション報告会（国際大会3日目・10/21）

- 多くの県内外の学生がエクスカーションに参加し、活発な意見交換が行われた。
- 大会最終日のエクスカーション報告会では、学生による報告が9コース中6コースあった。（3コースは、日本エコツーリズム協会（JES）理事等の分科会ファシリテーター役の報告による）

[参考：大会への学生参加者数は190人]

【大学・短大】70人（愛媛大15人、中央大9人、和歌山大6人、鳥取環境大5人、鳥取大2人他）

【高校】120人（鳥取城北高46人、米子松蔭15人、米子南11人、米子北8人、智頭農林5人他）

5 評価

（1）友好交流地域の感想

[大会への感想]

- 大変すばらしい大会だった。エコツーリズムやスポーツツーリズムはとても有望なジャンル。鳥取県ではいち早く受入れているので我々も見習いたい。

（韓国江原道 崔文洵（チェ・ムンソ）知事）

- モンゴル中央県では、自然を活かしたツーリズムが盛んであり、エコツーリズム国際大会への参加は大変有意義であった。鳥取県との連携を深めていきたい。

（モンゴル中央県 ショーライ・トゥムルチュドゥル副知事）

[大山ダウンヒルサイクリング]

- 吉林省の姉妹山である大山からのダウンヒルサイクリングは大変素晴らしかった。

（中国吉林省 陳香林（チェン・シャンリン）副主任）

- 大山からのダウンヒルサイクリングは景色も素晴らしく貴重な体験だった。是非、アップヒルも体験したい。

（ロシア沿海地方 プザリア・アスタフ代表）

(2) エクスカーション等の評価

- 9コースとも共通してガイドのガイダンスとおもてなしが素晴らしく、鳥取の魅力を十分感じることができたという声が多かった。特にEコース(上代)やFコース(たたら文化)について、こういう中山間地区の取組や歴史があるのかという驚きの声が多かった。
- 各エクスカーションの昼食、米子交流会及び大山交流会の「食」について、旬の地元食材をふんだんに使ったメニューと豊富な種類に、国内外から多数の賞賛の声をいただいた。
- 「とっとりスタイルエコツーリズム」の今後の展開を考える上で必要なこと。
 - ・現地エコツアーガイドの充実化(人材育成)
 - ・地域住民の理解及び参画の仕掛けづくり
- 総括(山田桂一郎JES理事)の主なコメント
 - ・持続する地域作りのために、経済活動に発展していくことが重要。人と素材を活かす手段がエコツーリズムである。
 - ・鳥取県には素晴らしい素材(人やものや繋がり)がたくさんあり、そして長年住んで培ってきた生活文化がある。これこそがゲストにとって異日常の豊かさに繋がる。
 - ・今後は地域にある素材を繋いだ旅行商品作りや旅行商品とゲストをつなぐオペレーション等、それらを行える地域プロデューサー的な役割を担う人材(又はセクション)が求められる。

6 今後の展開

- ① エコツアープログラムのプロモーション及びモニターツアー実施
⇒「どど〜んと100万円プレゼント」による当選者50人(2万円分)によるエコツアー体験会実施
- ② エコツアープログラムの商品化及び販売
⇒営業ツール:とっとりスタイルエコツアーガイドブック(県内プログラム150本を集約)
販売及び連絡調整拠点:大山ツアーデスク(旅行業2種)ほか
- ③ とっとりスタイル エコツアーガイドブックの外国語版制作(韓国語、英語、台湾語等)
⇒インバウンドプロモーションに活用
- ④ 鳥取県観光ナビアプリ「TOTTRIP」(とっとりっぷ)との連携
⇒エコツアープログラムサイトの造成(追加)

7 報道状況(メディア掲載等)

- ① 会前に新聞に特集記事(全15段)掲載(日本海新聞)
- ② 会期間中(初日~最終日)に於いて各社(新聞、テレビ、ラジオ)報道
- ③ 大会終了後特別番組の放映
「エコツーリズム国際大会2013in鳥取」ダイジェスト版 (BSSテレビ)
平成25年11月2日(土)15時30分~16時
- ④ 雑誌掲載
アウトドアマガジン「TRAMPIN'(トランピン)」他 国内雑誌3社
月刊「山」・月刊「人と山」・月刊「マウンテン」韓国アウトドア系雑誌3社

8 「エコツーリズム国際大会2013in鳥取」開催予算規模

23,500千円

<主な財源>大会参加費(3,500千円)、企業協賛金(6,000千円)、
市町村負担金(5,400千円)、県補助金(5,400千円)、国補助金等(3,200千円)